

みどりく みまもり通信

第2号 | 令和7年1月



みどりくみまもり通信では、地域の高齢者の見守りに役立てていただける情報を発信します。
今回は、高齢者見守り協力事業者*として活動いただいているお二人にお話を伺いました。

※地域の高齢者が安心して暮らせるよう、お仕事の中で見守りを行う事業者のことで。異常を発見したら、関係機関へご連絡ください。事業者登録すると、認定ステッカーがもらえます♪

Interview



店頭で『定点観測』を実践。ときには危険もお伝えします。

—マチス理容 小木曾 猛さん—



お店外観と見守りステッカー

地域の理髪店のネットワークを使って、認知症高齢者の徘徊の見守り『定点観測』をしています。ただし、認知症なのか健康のためには歩かれていくのか、判別は難しいです。日頃からお客様へ『お気を付けて』のひとことを差し上げ、店頭に見守りステッカーを貼ることで見守りの意識を持っています。また、訪問理容の際、暑さ対策をされていない方がいたため、率直に危険をお伝えしました。『他人からの言葉』は時に有効だと思います。私も、自分自身のことも大切にしながら、『いずれの明日』へ備えていきたいです。



Interview



ていねいな対応と、さりげない見守りを。

—徳重郵便局 菅郵便局長—



毎日多くのお客様が訪れます

高齢のお客様は若い方に遠慮されたり、ご自分の後ろに行列ができるかと、焦ってしまふことがあります。その際は、局員が積極的にお声掛けし、ゆっくり・ていねいな接客を心がけています。『見守りされている』と感ぜると、プレッシャーに感じられると思いますので、さりげなさも大切です。少し心配な高齢者の方がいらっしやうた際は、いきいき支援センター（※裏面参照）に連絡したことがありません。後に、すでに支援が入っていると判明し、安心しました。



緑区マスコットキャラクター
みどりっち



インタビューへのご協力、ありがとうございました！
これからもあたたかい見守りをお願いします。

（裏面へ続く♪）